

キャラクター名  
清白 慎 (すずしろ まこと)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	FHEージェントC	カヴァー	FHEージェント
	ハヌマーン					
オプション			年齢	19	性別	男
覚醒	無知	衝動	吸血		初期侵食率	32 %
出自	安定した家庭	経験	敵性組織		邂逅	欲望：殺戮

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	3			6	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：情報FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
高木 康太 (たかぎ こうた)	P 幸福感	N 劣等感		
リデル	P 友情	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
サイレンの魔女	7	5	メジャー	視界	シーン(範囲)	対決	-	
効果： 「攻撃力+L【v×3】装甲無視 CR×								
疾風迅雷	2	3	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果： 対象ドッジ不可 シナリオLv回								
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果： 直前使用。C値-1 シナリオ1回								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80	
効果： 攻撃力+【Lv×10】判定D-5 1シナリオ1回								
スピードフォース	2	4	イニシアチブ	至近	自身	自動	ピュア	
効果： イニシアチブ→メイン 未行動時のみ可 1シナリオLv回								
無音の空間	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果： 絶 RC判定しても可								
軽功	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： どこでも走るよまこ太郎								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

趣味：人間観察 (になった)  
好きなもの：キラキラしたもの (どんなに足掻いても結果的に報われない様)

【無駄に長いバックボーン&SS】  
物心ついた頃から覚醒はしていたが人前で見せたらどうなるかは分かるし、普通を装っていた。器用に何でもこなすし、優等生の皮を被っていた。趣味もなく日々が退屈で仕方がない。幼馴染兼友人の高木がバカやっていると見るのはまあ悪くないなと思っていた。高木と事件に巻き込まれ、その件でオーヴァードとして高木が覚醒。UGNと一緒に保護される。「お前！！何で今まで黙ってたんだよ！！？」「いや普通に考えて言う訳ないでしょ」「ぐぬぬ……！！」

UGNの協力者として高木と非日常に足を突っ込んだのにも関わらず、退屈や興味が惹かれるものはなかった清白の転機は友人の死だった。バカで元氣だけが取り柄のイノシシ野郎。「お前のやりたいことを探そう」と言い放ったお人好し野郎。それが動かなくなった。冷たくなった、無駄に輝いていた目はもう何も映さない、無駄に大きかった声は何も発さない。あんなに足掻いて足掻いて頑張っていたのに、それでも目の前には赤い海が広がっている。

「悪い」  
最後に言ったあいつの言葉。何故謝るんだらう、だってお前は何も謝ることなんてない、むしろ約束を守っただけじゃないか。何もやる気が起きない、刺激もない、灰色の退屈な日々はこの瞬間過去になった。  
「ありがとう、約束を守ってくれて」  
きっと生まれて初めて、心の底からの感謝だ。とびっきりの笑顔を作れていると思う。だって世界がこんなにも輝いて見える。